

# まつばら仁 11月16日! 国土交通委員会質疑



衆議院議員 松原 仁

## 羽田空港飛行空路及び飛行機増便を質す

16日、国土交通委員会で再度、質問に立ちました。前回の委員会での成田空港周辺における落下物に関する答弁について、過去10年での最大のものは12Kgあったという事実を確認しました。

### ○松原委員

まず、十月二十六日、本委員会において、私から、成田空港周辺における航空機からの落下物について伺いました。航空局長は、過去十年間、氷の塊が七件、航空機部品十四件の落下物が報告され、航空機部品については重さは最大で約一・八キロのものが報告されているという答弁でありました。しかし、翌日の東京新聞には、平成二十年五月に成田空港発シドニー行きJALウエイズ便が千葉県香取市の畑に重さ十キログラムのエアコンパネルを落としたはずであり、航空局長は誤って答弁したと報道がありました。この事実関係はどうなっているか、伺います。

### ○佐藤政府参考人

お答え申し上げます。十月二十六日の本委員会においては、松原委員の成田空港周辺における落下物に関する質問に対し、国として事実の裏づけが確認できた範囲内で、過去十年間において航空機部品十四件の落下物が報告され、部品の重さは最大で約一・八キログラムのものが報告されていると答弁をいたしました。その後、国土交通大臣からの指示を受け、過去十年間の十四件の航空機部品の落下物事案について、改めて関連資料を収集し、事実関係を確認したところ、御指摘の報道で取り上げられた平成二十年五月に発生した落下物の重さは約十二キログラムで、これが過去十年間で最大であることが

### ○松原委員

これは極めて重要なことなので、国土交通省、特に航空局では、こういったことに関してきちっと答弁をしてもらいたいと思っております。十二キロというのは大変な重さでありまして、これは大変なことであると思います。もともと、上空から落ちてくるので、大臣、これは氷の塊だつて当たつたら大変ですよ。そういう状況であります。今国が提案している新しい航空経路は人口密集地の上を飛んでいるわけでありまして、住民が不安を感じるのには当たり前であります。大丈夫なのか、こういうふうな不安の声が上がるのも当然であります。私は、羽田空港における新飛行経路の導入に当たって、航空会社をしっかりと指揮、指導するなど、国としての責任を持つて落下物対策に取り組むべきだと思っておりますが、大臣の御所見をお伺いします。

### ○石井国務大臣

委員御指摘のとおり、羽田空港における新飛行経路の導入に当たっては、これまでに以上落下物対策を強化し、安全対策の徹底を図りたいと考えております。落下物を防止するためには、本邦航空会社はもちろんのこと、外国の乗り入れ航空会社も含め、機体の適切な整備点検を徹底させることが重要であります。具体的には、羽田空港に乗り入れる外国の航空会社に対して、機体の整備点検の徹底を厳しく指導してまいります。また、航空会社による整備点検に加えて、駐機中の航空機に対し、国の職員が、落下物の発生防止の観点から注意すべき機体の箇所を重点的に確認する仕組みを新たに構築いたします。さらに、国、航空機メーカー、本邦航空会社との間で落下物に関する情報共有のために定期的に開催している会議に羽田空港に乗り入れる外国の航空会社の参画も求めまして、未然防止策に関する情報共有の徹底を図ってまいります。これらの方策によりまして、落下物対策の強化を図ってまいりたいと存じます。

### ○松原委員

本当にこれは一番重要なことなので、十キロを超えているものが降ってきたら大変な衝撃であります。こういうものが仮に降ってきたらこれは全体のグラウンドデザインを変えざるを得ないことになろうというところは、この場で率直に、強く御指摘を申し上げておきたい。あわせて、航空会社の航空機が整備点検をした場合に確認される場合があることが聞いています。それがそのまま落下物になるとは承知をしておりますが、可能性は十分ある。こういったものを求める制度があるか、聞いてお伺いします。

### ○佐藤政府参考人

お答え申し上げます。航空の安全を確保するためには、事故や重大インシデントの原因調査、再発防止のみならず、それに至らない安全上のトラブルについての情報も幅広く収集し、未然防止策を講じることが重要であります。このため点検や整備の際に航空機の一部部品がなくなっていることが確認された場合について、航空運送事業者等に報告を求める制度を平成二十一年度設けたところでございます。

### ○松原委員

こういったことで、航空の安全は全てに優先する、落下物対策は極めて重要であるということをお伺いしたいと思います。そして、こういった落下物が発生している事実を踏まえると、今後も落下物が生じないとは言えない。ということは、私は、このままでしっかりと落ちるんじゃないかと思わざるを得ないわけでありまして、未然防止のことは全力で取り組んでもらいたいわけでありまして、十月二十六日のこの委員会でも質問させていただきまして、成田空港周辺で人的被害が生じているのかどうか、そんな被害があったのか、そして、こうしたものに関する御答弁とあわせて、新航空経路の下において実際に被害が発生した場合、その補償はどうなるのか、お伺いしたいと思います。

### ○佐藤政府参考人

お答え申し上げます。まず、成田空港周辺での落下物でございますけれども、成田空港周辺におきまして